

～秋田県奥羽・羽越新幹線整備促進期成同盟会設立総会が開催～

9月7日(水)、秋田市の「秋田ビューホテル」において、秋田県奥羽・羽越新幹線整備促進期成同盟会の設立総会が開催され、佐竹敬久秋田県知事ならびに本会加藤憲成副会長をはじめ、本県選出国会議員や県内の各自治体、経済団体の関係者など約170名が出席しました。

本同盟会は、奥羽・羽越両新幹線が昭和48年に全国新幹線鉄道整備法に基づく基本計画に位置付けられているものの、未だその実現に至っておらず、オール秋田による両新幹線の整備促進に向け、官民挙げて強力で運動を推進していくため設立されたものです。

総会では、議案の審議に先立ち、設立発起人会を代表し三浦廣巳秋田県商工会議所連合会会長ならびに佐竹知事による挨拶の後、本県選出国会議員による来賓挨拶が行われました。

続いて、議長に佐竹知事を選出し議案の審議に入り、設立趣意書(案)や規約(案)、顧問及び本会藤澤正義会長の副会長就任を含む役員(案)が承認されたほか、国、東日本旅客鉄道株式会社等への要望活動の実施を含めた平成28年度事業計画ならびに決議(案)の全議案が満場一致で承認されました。

なお、本会では、今後とも本同盟会の一員として、両新幹線の整備促進に向け取り組んでまいります。

平成28年度
秋田県奥羽・羽越新幹線整備促進期成同盟会
決議

- 1 奥羽新幹線及び羽越新幹線の着工に結びつけるため、基本計画路線から整備計画路線への格上げを目指し、官民一体で運動を加速化していく
- 2 奥羽新幹線及び羽越新幹線の整備に必要な財源の確保について、国等への働きかけを強力に行っていく



[設立総会の様子]

9月15日(木)、秋田市の「秋田拠点センターアルヴェ」において、本会主催による「新ものづくり・新サービス展」を開催し、ものづくり補助金活用企業のうち21社が、自社の技術やサービス、新商品を売り込もうと出展しました。

当日は、本会藤澤正義会長による挨拶の後、有限会社中里スプリング製作所(群馬県高崎市)の中里良一社長より、「プラス思考の企業経営法～ハンデをプラスに変える発想とは!??～」と題し基調講演が行われ、新聞や雑誌、テレビ等多くのメディアで取り上げられている当社のユニークかつ型破りな経営手法について、具体例を随所に交え講話がありました。

また、出展企業のうち、株式会社鈴木青果問屋(横手市)の鈴木雅博社長をはじめ、株式会社川瀬製作所(北秋田市)、株式会社アスター(横手市)の3社より、同補助金を活用したことで得られた成果についてそれぞれ事例発表がありました。

本会では今後も、「ものづくり補助金」の秋田県地域事務局として、同補助金を活用する中小企業・小規模事業者を積極的に支援してまいります。



[挨拶をする藤澤会長]



[成果を発表する鈴木社長]